

不戦への誓いを新たに 戦没者追悼式



▲献花を手向け、平和を祈る参加者

先の大戦で亡くなられた戦没者の冥福を祈る追悼式が、九月十三日、町と社会福祉協議会の主催で横田コミュニティセンターにおいて開催されました。



▲追悼のことばを述べる戸屋豊さん

会場には、各地区の遺族会会員など約二百八十人が参列し、八百九十三柱の御霊に追悼の意を送り、一分間の黙祷や全員で霊前に献花を手向けました。

岩田町長は「現在の日本の繁栄は、戦没者の尊い命の上に築かれていることを忘れず、平和な社会を実現するために、今後も努力したい」と式辞がありました。また、遺族を代表して馬木

地区遺族会の戸屋豊会長が「戦没者の肉親であることを誇りに思い、一人ひとりが覚悟を新たに、世界平和に尽くしたい」と追悼のことばを述べられました。

終戦から六十二年が経ち、町内でも遺族の高齢化が進み、戦争の記憶は徐々に薄れつつあります。参列者は、平和の大切さを再認識し、不戦への誓いを新たにしました。

勇壮な太鼓の響き 第4回 奥出雲太鼓祭



▲仁多乃炎太鼓による力強い演奏



▲仁多乃飛炎太鼓「めぐみばやし」

第四回奥出雲太鼓祭が十月五日、三成公園野球場において開催され、全国から十四団体が出演し、勇壮な演奏で会場を魅了しました。

前半は、三成保育所の子どもげんき太鼓や三成幼稚園児のなかよし炎太鼓のかわいらしい演奏、後半は、出雲市や松江市、県外からのグループ、仁多乃炎太鼓の演奏などが披露されました。

あいにくの雨模様の中、会場には千人を超える観衆が集まり、色鮮やかなステージで繰り広げられる迫力あるパチさばき、力強い太鼓の響きに



▲仁多中学校（仁多誠心和太鼓）



▲三成小学校「よさこい踊り」

大きな拍手が送られました。なお、仁多乃炎太鼓は、十一月にフランスで開催される「ジャパンウイーク2008」に、日本の伝統芸能を代表して参加します。

いつまでもお元気で 長寿を祝い県や町から記念品を贈呈

今年度中に満百歳を迎えられる、古井盛雄さん（上阿井）、松原國市さん（亀嵩）、千原利男さん（大馬木）に内閣総理大臣からの祝詞と銀杯、町から祝詞と記念品が贈られました。

また、今年満百三歳を迎えられた、荒木ヨシ子さん（横田）には、「しまね健康超寿者」として、溝口善兵衛島根県知事から表彰状と記念品が贈られました。

荒木さんは、NHKの「百歳ばんざい」にも出演したことがあり、毎日午前中に巾着袋を一日一個作ることが日課で、知人にプレゼントするなど元気に過ごされています。これからも健康に留意され、皆さんの益々のご長寿をお祈り申し上げます。

なお、本町の十月一日現在の高齢者数（六十五歳以上）は、五、四三六人で、高齢化率は三五・〇二％となっています。



▲お礼に手作りの巾着袋を手渡す荒木さん(左)

一味同心塾で稲刈り交流

料理研究家・中村成子先生が館長を務める上阿井のふれあい交流館「一味同心塾」前の水田で九月二十一日、二十三日に稲刈り交流が行われました。

今年はいにくの雨となり、二日間にわたって行われた作業には、ボランティア「米づくり委員会」が中心となり、約三十人が昔ながらの稲刈りを体験しました。

参加者は、黄金色に染まっ



▶ハデ掛けをする参加者

た三十坪の水田に入り、無農薬栽培のコシヒカリを手刈りとバインダーで刈り取り、七段の立派なハデに稲を掛け、心地よい汗を流しました。今年、夏の好天に恵まれ収穫は上々でした。

なお、この昔ながらの安心安全な米づくりと世代を越えた交流は、仁多米のイメージアップに大きく貢献しています。



第28回 島根県サッカー選手権大会

第二十八回島根県サッカー選手権大会が九月二十日、三成公園人工芝サッカー場で開催されました。

大会には町内の小学校から一部と二部に二十六チームが参加し、四つのコートでリンク方式により試合が行われ、決勝トーナメント進出を目指し熱戦が繰り広げられました。特に六年生にとっては最後の大会となることから、選手たちは各コートで懸命にボールを追いかけました。

また、今年も大会に先立ち、大分県で開催される第六十三回国体「チャレンジ！おおい



▲力強い選手宣誓

た国体」のサッカー競技に出場する島根県選手団の激励会が行われました。なお、少年男子チーム主将の伊藤太亮選手は、島根県選手団の旗手に選ばれました。

- 【大会成績】
- 男子一部 優勝 馬木ホッケーズ 少年団
 - 準優勝 阿井小ヤングマンズ
 - 男子二部 優勝 八川ファイターズ
 - 準優勝 高田オクラホマミキサーX
 - 女子一部 優勝 鳥上ルネッサンス
 - 準優勝 横田小キャラメルリボン
 - 女子二部 優勝 横田小ハッピー∞
 - 準優勝 八川ブルーナイン